

令和4年8月4日

発熱外来受診の患者様へ

新型コロナウイルス感染症(オミクロン株)について

多くの人にとって、現在流行中の『**新型コロナウイルス・オミクロン株**』は、発熱を伴う一般の感冒（かぜ）と何ら変わりありません。

個人差はありますが、症状は咽頭痛や軽い咳・鼻水、倦怠感出現後48時間以内に39℃前後の発熱が出現します。熱は、2～4日程度続きますが、解熱後症状は速やかに改善し1週間程度で快復します。特別なお薬は必要ありません。

しかしながら、現在、新型コロナウイルス感染症は法律で全数把握（患者数全員を調べる）が必要な『2類相当』に分類されているため、感染者、濃厚接触者等は、発熱診療医療機関、帰国者・接触者外来として、コロナ検査を行っている状態です。

この費用は、診察料の利用者負担と公費(無料・税金)の検査で賄っています。

今は、公費(無料)の検査であっても、毎日行われる膨大な検査費用は、後々税金の上増しの形で私たちから徴収されることになるのです。それで、感染拡大が抑え込めるのならば良いのですが、濃厚接触者も調べられない日本のやり方、即ち、コロナ検査することに感染抑制の効果は全くありません。

また、どれだけ検査をしても、オミクロン株の抑え込みは不可能であることは世界中で実証されており、現在先進国のほとんどは、積極的検査を実施していない状況です。

私たちは、今、日本が行っている新型コロナウイルス対策は、オミクロン株の特性にそぐわない対策のために、無駄な検査と医療ひっ迫を招いていると考えます。

よって当院では、8月から、医師が医療上（治療を行う上で）必要と判断しない限り、新型コロナウイルスの検査は行いません。

社会的な理由でどうしても検査が必要な場合、ご自身で検査キットを準備していただき、ご自身で確認していただくようお願いします。陽性となった場合には、「院外検査・陽性者診察外来」を平日午後に行っておりますので、午前中に当院へ御連絡下さい。

なお、医師が新型コロナウイルス検査を当院で行う目安は、

- ① 全身状態が悪く、点滴や入院を含めた、投薬以上の医療介入が必要
- ② 低酸素状態で、入院して酸素投与が必要
- ③ 重症化のリスクがあり、慎重な経過観察が必要

と判断した場合と考えてください。

新型コロナウイルスに感染していても、いなくても、患者の診察は丁寧に行います。その上で必要な投薬・検査はしっかり行います。そして、患者さんの症状が良くなれば、それで良いのです。

榛原総合病院

副院長／COVID-19 対策チーム長

/兼小児科部長

金 憲徳